

東白川村 美しい村づくり 委員会

第1回

○場所：役場3階会議室

○時期：平成28年3月16日 19:00~21:00

○参加者：委員6名 行政4名

【自己紹介】

－委員会に応募いただいた委員と役場職員ひとりひとり自己紹介も兼ねて委員会に対する想いを一言ずつ話していただきました。全員に共通していたのは「村に協力したい、村を盛り上げていきたい」ということでした。

【懇談】

①美しい村づくり委員会に期待すること

行政事務局から委員会への想いを伝えました。美しい村連合で関わった先進地を10ヶ所訪れた際、どこの地域の住民も自分達の地域が好きで自信や誇りを持っていることに感銘を受け、東白川村もそうありたいという想いを持っています。村長からも委員会を通して、東白川村がんばる地域づくり補助金を村民の方にもうまく活用してほしいとの説明がありました。住民提案型施策として助成金の対象となるような活動を委員会から村民に公募する予定でいます。

②意見交換

ファシリテーターを中心に委員と村長、役場職員の意見交換が進められました。主な意見は以下のとおりです。

- ・ワークショップなどゆるく話し合える場にしたい。
- ・行政が気付かないような意見が出るとよい。

- ・なんのために委員会が存在するのか、メンバー全員が聞かれたら答えられるような共通認識・共通言語がほしい。
- ・委員会でのルールのような決まり事は少しでも必要。
 - ⇒ 会の終わりに次回の決め事を話し合っで決め、会を重ねていくと同時にルールも増やしていけるとよい。
- ・話し合いを集落ごとで開催しても良いのでは？
- ・いくつか話すテーマを決めてテーマごとに話し合う日を決めても良い。
 - 例：〇〇日は観光について、〇〇日は高齢者福祉について
- ・もっと広い年代の人達にも参加してもらいたい。
 - ⇒年配の方・若い方達にも参加してもらいやすいテーマの設定が必要。
- ・人を集めて「村民大会議」のような活気ある委員会にしたい。
- ・努力目標として6月までに助成金の組み立てを行ってほしい（村長より）
…など。

次回までに参加者各自が、以下の項目を宿題として考えてきていただくことになりました。

- ・話し合いのテーマ
- ・美しい村づくり委員会のPR方法（CATVやチラシなど）
- ・委員会の理念、共通認識
- ・会議の進め方

それぞれの想いや意見があり、それを理解し合う参加者の姿があり、とても良いスタートを切ることが出来たように感じました。